

ほんのなまえ	ほんをかいたひと	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
おつきさまこんばんは	林 明子／著	福音館書店	Sエホン	よるのおそらはくらいくらい。おや、やねのうえがあかるくなった。おつきさまがのぼってきたんだ。おつきさま、こんばんは。まんまるおつきさまがこちをみてる。そこに、くもさんがやってきて、おつきさまがみえなくなった。くもさん、どいてどいて。
つきよのぼうけん	エドワード・アーディゾーニ／絵 エインゲルダ・アーディゾーニ／文 なかがわ ちひろ／訳	徳間書店	エホン／ア	ぬいぐるみのくまのダンディとおにんぎょうのケイト、ちびくまのテディはくるひもくるひも、とだなのなかでねていました。このいえのこどもたちが、もうあそんでくれないからです。あるひ、ダンディたちはとうとうすてられてしまいました。「あたらしいおうちをさがしにいこう」ダンディたちのぼうけんがはじまります。
月へミルクをとりにいったねこ	アルフレッド・スメードベルイ／さく ひしき あきらこ／やく たるいし まこ／え	福音館書店	エホン／タ	こねこのためにミルクをさがしにでかけるかあさんねこ。つきでミルクがもらえるときいて、つきをめざしてどんどんは歩いていきます。けれど、はしてもきにのぼってもおいつけません。あきらめないかあさんねこはミルクをもらうことができるでしょうか。
おつきさんのき	長 新太／さく	教育画劇	エホン／チ	やまのちかくのいっぼんのき。なんだかとてもふしぎなき。ボウシをかぶっていたり、モクモクでてきたくもとはなしていたり。さかだちしているひもあればふねのかたちのひもあるんだ。あるよ、おつきさんがおりてきて、きのところへやってきた。どうなるのかな？
つきよのおんがくかい	山下 洋輔／文 柚木 沙弥郎／絵 秦 好史郎／構成	福音館書店	エホン／ユ	きょうは、まんげつのひです。やまのてっぺんでつきをみようよと、こうちゃんがやまにのぼると、むこうからクマ、ウマ、ネコ、イヌが、つぎつぎとがつきをかついでやってきました。そして、4ひきがあつまると、えんそうかいがはじまります。
おこったつき	ウィリアム・スリーター／文 ブレア・レント／画 ただ ひろみ／訳	富山房	エホン／レ	女の子が月のわるくちを言ったとたん、おこった月にさらわれてしまいました。友だちの男の子が月にむかっていったやは、どんどんつながり月にとどくはしごになりました。男の子が月のせかいにのぼっていくと、ふしぎなおばあさんに女の子をすくいだすひけつをおそわります。うまく女の子をすくいだすことができるかな。